



## 快晴のてんてん祭り 2012

てんてん祭り実行委員会 委員長  
丸山 浩史

「それっ!」ドン! ドン! ドンドンドン! 雲ひとつない秋晴れの中、和太鼓の音が会場に響きわたりました。10月13日(土)、共和病院文化祭“てんてん祭り”のはじまりです。和太鼓を演奏するのは、この地域を中心に活躍されている「和太鼓童子どうし」のみなさんです。子どもから大人までの10人による演奏は会場を沸かせ、安藤院長の開会の挨拶を皮切りに演奏はさらに盛り上がり、そのまま盛大な雰囲気につながりました。

患者様もご家族といっしょに楽しみ、職員も普段の白衣や制服から、ハッピーなステージ衣装などに一転するなど、病院は祭り色に染まります。会場は、様々な模擬店が並び、健康チェックで現在の自分を知り、バザーで掘り出しものを見つけ、ステージのパフォーマンスを観て拍手するなど、会場全体が笑顔であふれていました。

さて“てんてん祭り”は、当院に入院されている患者様の楽しみ、そして当院のことを地域のみなさまに理解していただく機会として始まり、地域に支えられ今年で7回目を迎えました。回を重ねるごとに規模も大きくなり、今回は500名を越す来場者に恵まれ、たいへん嬉しく思います。

今回の祭りのテーマは「挑む」としました。このテーマは当院が所属する特定医療法人共和会において、新たに「住宅型有料老人ホーム すみれの丘」が入る「まごころ館」を新築し、内科から精神科まで地域を担う医療機関として挑戦し続けること、そして“てんてん祭り”をさらに発展させるという意味を込めました。まごころ館を会場に加え敷地を拡げたことで、各箇所をまわるスタンプラリーは、クイズを解く知力だけでなく、歩く体力も必要になったのかも?しれません。

お子さんやお孫さん連れなど、ご家族揃ってご来場していただける方が多い中、当院の産休中の職員や退職した職員も、お子さんと共に来場していました。会場内ではなつかしの対面もあり、「優しい医療・楽しい職場」だからこそそのそんな風景、そんな職場を誇りに思います。

“てんてん祭り”を通して、地域のみなさま、患者様、職員がいっしょに楽しめる場になることを祈り、「それっ!」ドン! ドン! ドンドンドン!ありがとうございました!





日本医療機能評価機構  
認定シンボルマーク

# TOPICS・EVENT

## いろいろな「挑む！」



一昨年、昨年と雨のなかでの開催でしたが、今年はさわやかな秋晴れとなり、和太鼓演奏のかわいい子どもたちの元気の良い演奏とともに、開会となりました。

中庭では、新しい模擬店もたくさん増え、玉せん、うずまきウインナー、五平餅、ジュース販売など、美味しいものが安く買えてとてもお得だったと好評で、何度もチケットを求めにいられた方もいらっしゃいました。

また、入院中の患者様とご家族の方が一緒に買い物をしたり、休憩スペースで食事をされている姿もみられ、交流の場としても利用いただいているのだなと感じました。

今回、テーマが『挑む』ということもあり、新しい3つの取り組みを行ないました。

まず1つ目は、会場の拡大です。まごころ館も会場となり、館内では有料老人ホーム、訪問看護、訪問介護の利用相談や、薬剤師によるお薬相談を行ないました。さらに、ポールプールや、手作りおもちゃで自由に遊ぶ子ども広場があり、院内保育所の子どもたちも地域の子どもたちと一緒に楽しんでいました。

そして、建物の外では、試行錯誤を重ねて完成した、大きな大きなしゃぼん玉の中に入って子ども達が遊んだり、しゃぼん



玉をたくさん作って飛ばしたりする姿が見られました。なかには「もういっぱい!」とお母さんにおねだりしながら遊んでいる姿もあり、親子で楽しんでいる様子もうかがえました。

また、病院からまごころ館まで距離があったこともあり、その間を結ぶ送迎カートも好評でした。

2つ目は、よりたくさんの地域のみなさまに来ていただけるよう、共和駅と当院を往復する交通手段として、送迎車を出したことです。今回初めての試みでしたが、二十数名の方に利用していただきました。

3つ目に、職員から集めた品物でチャリティーバザーを行ないました。服から玩具までたくさんの品物が集まり、開始前から品定めをされるお客様もいらっしゃいました。開店後も値段交渉をしたり、何度も買いにいられたり、これもなかなかの好評でした。このバザーの売り上げは、日本盲導犬協会に全額寄付させていただきました。

今年は天候にも恵まれ、たくさんの地域のみなさまにお越しいただき、楽しんで頂けたと思います。ありがとうございました。

来年もさらにパワーアップしたてんてん祭りになるよう挑み続けたいと思います。

てんてん祭り実行委員一同

## 横根地区のまつり

10月14日(日) 横根地区子ども会のみなさんが、獅子舞の披露に来院してくださいました。C館玄関前に50人以上の患者様と職員が集まり、迫力ある獅子舞の踊りに酔いしれました。獅子舞が観客に向かって踊ってくる時には「すごい!!かっこいい!!」と歓声があがり、お囃子と共にお神輿を担いで歩く姿に「かわいい」と目を細めて見ていました。子ども会のみなさん、ありがとうございました。来年もよろしく願います。



## 新施設の名称決定!

8月に誕生した新施設は、名称を職員から公募し213通の中から「まごころ館」に決定しました。

名づけ親となったのは、作業療法課 係長の梶です。

館長には、れんげ草 課長  
の今村、副館長には、すみれの丘 係長の荒木が就任しました。ここに入る事業所全体が、利用者様をまごころでサポートしていきます。まごころ館のこれからにご期待ください。



(左から) 荒木、加藤理事長、梶、今村



## 病院食改善委員会

私たちは、病院内の食事をより良くするために活動しています。患者様の給食はもちろん、デイケアや職員食堂の食事にも力を入れています。メンバーは各病棟、デイケア、栄養課の病院職員と、給食業務を委託しているマルタマフーズの職員です。常に患者様と身近に接している病棟職員が、実際に献立作成から調理・配膳まで行なっているマルタマフーズの職員と直接顔を合わせて話し合える貴重な機会です。

病棟からは患者様の声を代弁してもらっています。おいしかったメニュー、おいしくなかったメニューなど要望はたくさんあり、患者様の食への飽くなき欲求を感じる瞬間でもあります。誰でも食べることは楽しみであり、少しでも満足していただけたらうれしくなります。たくさんの声に耳を傾け、安全においしく楽しい食事にするために、日々努力しています。

現在は選択メニューを充実させることに取り組んでいます。より患者様が楽しみにしていただけるような給食運営をするために、新しいことにも挑戦していきます。

いつもおいしい食事を提供して下さるマルタマフーズの皆さんに感謝し、共に食事に関わるもの同士協力していきます。これからも、委員会の活動にご支援ご協力をお願いいたします。

委員長 吉田 真由子



## 大府市福祉・健康フェアに参加して “3(み)んなの心にとどけ絆の0(わ)”

9月23日(日) 大府市福祉・健康フェアは、今年で30回を迎えました。さすがに記念という事もあり内容盛りだくさんで、天気はあいにくの小雨ではありましたが、会場は熱気であふれていました。

この日は私の誕生日という記念すべき日でもありました(笑)。

記念イベントとしては、「懐かしい昔あそび・昔おかし」「くじ引き大会」そして「よせがき大募集」などが行われていました。

藤池公園では「みんなで一緒に体を動かそう!!」と題して、遊んで楽しく健康づくりができるはずでしたが、残念ながら雨のため中止となってしまいました。それでも約90団体が参加し、それぞれの活動紹介をはじめとし、福祉相談や各種体験コーナー・チャリティーバザーなど、様々な催しが行われていました。

午後から雨が上がると、石ヶ瀬会館前では、太鼓やチャンバラ、パフォーマンスが行われ、また藤池公園で行われるはずだった「おぶちゃん体操」も急遽こちらで行うことになり、来場者の拍手や笑いをとっていました。

今年当院では、新しく健診システムを導入したこともあり、当院の健康診断のプランなどをアピールしました。いろいろお話を伺っていると、お子様連れのお母さんや退職された方などは健康診断を受ける機会が無いとのこと。会場の保健センターで行われていた体験コーナー(骨密度や体力測定など)が大盛況であったことを考えると、当院の健康診断を皆さんにご紹介し、身近なものにさせていただきたいと思いました。

また、同法人が運営している訪問看護ステーション ソレイユや、新たにオープンした住宅型有料老人ホーム すみれの丘のご紹介も行い、当院の“てんてん祭り”も大勢の方にご案内出来ました。おかげ様で“てんてん祭り”の報告でご覧になった通り大盛況となりました。

“てんてん祭り”の風船をたくさんのお子様にお渡ししたことで、会場のあちらこちらで風船が浮かび上がり、その風船はどこでもらえるの?って探し回った方も多かったようです。

来年もまた参加させていただきますので、ぜひ当院のブースにお立ち寄りください!

総務課(健診委員) 樋高 里津子

## 編集後記



猛暑だった夏が遠い記憶のように、すっかり秋も深まってきました。

私にとって秋と言えば、スポーツの秋、食欲の秋です。と言っても、近頃は後者ばかりで、先日行なった健康診断の結果は、過去最低のものになってしまいました…。年を重ねるごとに、意識して体を動かさないといけないですね。そして、体を動かすときには、メンテナンスも重要で

す。今回のてんてん祭りで、私はジュース販売を担当していましたが、おかげさまで大盛況となり、一日中立ちっぱなし。持病の腰痛が悪化してしまいました。そして疲れが溜まってか、翌日は風邪でダウン。

心身ともに健康を維持するためには、食事・運動・休養のバランスがとても大切なことを痛感しました。今からの冬に向けて、みなさんも気をつけてくださいね。

広報誌委員会 内藤 亜由美

## 通所リハビリテーション コスモス



平成18年10月に開設して、今年で7年目を迎える事ができました。そして平成24年9月より『まごころ館』1階に移転しました。名称は「コスモス」、その花言葉のように、調和、真心、愛情をモットーにしています。

当事業所は市内の通所介護や通所リハビリでは他にあまり実施されていない短時間のリハビリ(午前1~2時間、午後3~4時間)を中心に行なっています。移転してからは、「6~8時間」の通所リハビリも増え、開所からご利用の方も含めると、現在40代~90代の57名のご利用があります。

新リハビリ室は、窓から竹林もみえ風情があり、室内はとても明るく広くなり、広い室内を歩かなければいけないため、自然と歩行訓練にもなります。スタッフも利用者様から「ダイエットになるね」と言われていますが効果のほどは・・・?



また、今まではトイレの数が少なくご迷惑をお掛けしていましたが、数を増やしたことによって解消されました。お風呂も新たに増設し家庭のお風呂を想定した補助具を使用して入浴できます。

マシン・エアロバイクに加え、増設したウォーキングマシンも人気があります。利用者様も環境が変わり戸惑い等あったと思いますが、今までと変わらずに明るく、楽しく頑張っておりリハビリをされている姿勢をみて、私達スタッフも元気をいただいています。

少しでも利用者様のお手伝いをさせていただき、これからも利用者様と一緒に歩んでいきたいと思ひます。

コスモス 高須 孝子

問い合わせ TEL 0562-48-1918  
FAX 0562-48-1916

スケジュール(午後3~4時間)		13:40~14:40	トレーニング(リハビリ専門職が個別に訓練を行います)
12:15~13:00	お迎え(スタッフがご自宅までお迎えに伺います)	14:40~15:00	おやつ(皆で談笑されています)
13:00~13:20	健康チェック(血圧体温を測定します)	15:00~16:00	マシントレーニング(各自合ったマシンを選べます)
13:20~13:40	テレビ体操(皆で体操を行います)	16:15~	お送り

### スポーツ振興への尽力に表彰!

10月1日(月)半田市制75周年記念式典において、当法人本部長の江端 要さんが市長表彰を受けました。

卓球競技に中学生から約45年間選手として活動するとともに半田市卓球協会の運営にも30年以上携わり、小学生から高齢者まで老若男女を問わず楽しめる卓球の普及に尽力し、市政に顕著な功績があったとして認められました。現在、半田市体育協会常任理事、半田市卓球協会理事長も務め、「これからも卓球競技を通してスポーツの普及と振興に尽力していきたい」と話しました。今後ますますの活躍を期待します。



### お知らせ

- 12月29日(土)~1月3日(木) | 年末年始により外来診療を休診させていただきます。



共和会理念

### 『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

### 基本方針

~当院をご利用の皆様へ~

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報保護は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

## 共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>